令和6年7月1日発行
吉野さくら学園
校長　山田　真路
No.８

さくら日和（校長室より）

書きたいことがいっぱいありまして、両面通信になりました。No.８は、３部作です。

成長を見守る　～待つことを楽しむ心～

○　小学校１年生が育てているアサガオのツルが伸びてきました。種まきから今日まで、ペットボトルを改造して作った自分のじょうろで、雨の日以外の毎日せっせと水やりをし、成長する様子を観察していました。
朝、私がアサガオの鉢が並んでいる場所を通ると、水やりをしている１年生が、「芽が出たよ。」「葉っぱが多くなったよ。」と、うれしそうに教えてくれます。これらの声を聞くと、私もうれしくなりました。
１年生のアサガオの鉢が並んでいる横に、２年生が育てているミニトマトの鉢が並んでいます。２年生も、１年生に負けじとミニトマトのお世話をがんばっています。
ミニトマトは収穫の時期を迎えたようで、赤くなったトマトを収穫している子どもたちの様子が見られるようになりました。そのなかで、ひとりの２年生が、「これ、とれてん。」と、手の中で大事そうに包んでいたミニトマトを見せてくれましした。宝石でも持っているかのように大事そうに手の中で包んでいるミニトマトを自慢げに見せてくれるのです。収穫を喜ぶ２年生の姿を見てこのときもうれしくなりました。

１年生の皆さん。アサガオの花が咲くのが、楽しみですね。
２年生の皆さん。これからもたくさんのミニトマトが収穫できるのが、楽しみですね。

心を揃える　～こころをそろえる～

○　毎朝、私は校舎内をひと回りしています。そのとき、トイレのスリッパの様子をうかがっています。きれいに並んだスリッパ。かかとが揃っているスリッパを見たときは、よしよしみんなの心が揃っているな、と思います。スリッパが乱れていたり、つま先があちこちの方向を向いていたりしたら、どうしたのだろう、何かあったのかなと思います。慌てていたのかな。忙しかったのかな。
漢字の成り立ちで考えると、「慌てる」とは、心（こころ）が荒（あ）れる、と書きます。「忙しい」とは、心（こころ）が亡（な）くなる、と書きます。
こんなときこそ、心を揃えませんか。荒れる心のとき、心を亡くすときこそ、いったん落ち着いて、スリッパのかかとを揃えて、心を揃えて欲しいと思います。ひと呼吸ついて、次にトイレを使う人。目の前にいない人が使いやすいかなと想像してみると、心が落ち着くことでしょう。すると、心が揃うのでスリッパのかかとも揃う。こんなつながりでいかがでしょうか。靴箱や玄関で、靴を揃えることもできそうですね。
No.７では、「そうじは心　心をみがく」No.８では「かかとを揃える　心を揃える」
心をテーマにした合い言葉。ふだんの生活でも活用できるんじゃないでしょうか。いかがですか。

平和について考えてみましょう　～考えたら、平和のための活動をすすめましょう～

○　６月２３日は、沖縄慰霊の日でした。今年、中学校３年生は沖縄へ修学旅行に行きました。修学旅行中、今から７８年前に起こった沖縄戦に関する平和学習をしました。そのときの平和学習の報告会をかねて、３年生の代表が給食の時間に学校放送を通じて全校に呼びかけました。２３日は日曜日でしたので、翌２４日の月曜日に放送することになりました。
沖縄のひめゆり平和祈念資料館で学習したこと。平和の礎でセレモニーをしたことなど、沖縄での平和学習の様子と平和に対する思い、決意を自分の言葉で述べてくれました。立派な企画。立派な発表でした。
平和な世の中をつくるためには、あなたの平和に対する活動が不可欠です。どんな活動をすれば良いのでしょうか。「身のまわりの平和を守ることが、世界平和につながる」私が広島で、原爆を体験された竹内さんから教えていただいた言葉です。
私たち一人ひとりが家族やなかまの平和を形つくっていけば、いずれ平和な人の繋がりが大きくなり、世界平和に繋がるといったところでしょうか。身のまわりの平和を守る。ここからなら、平和のための活動ができそうですね。

●　私事ですが、今週一週間は県外出張のため学校不在となります。ご迷惑をおかけします。